

2016年5月13日

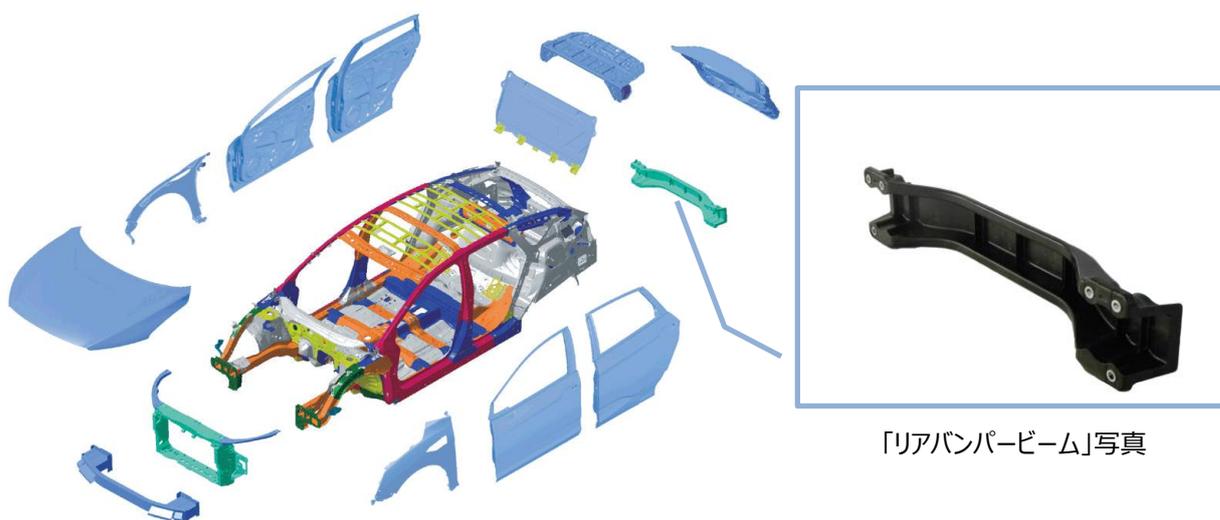
Honda の新型燃料電池自動車「CLARITY FUEL CELL」にタカギセイコー「TS 高速スタンピング成形システム」による構造部品リアバンパービームを搭載

株式会社タカギセイコー

タカギセイコーは、これまで樹脂と複合素材の加工技術の開発に取り組んでおり、この技術を活用した樹脂とガラス繊維の複合素材による自動車構造部品が、本田技研工業株式会社（以下、Honda）が本年3月より販売を開始した新型の燃料電池自動車「CLARITY FUEL CELL（クラリティ フューエルセル）」に搭載されています。

今回搭載された部品は、Honda とタカギセイコーの共同研究により、世界初*の GFRP（Glass Fiber Reinforced Plastics）ハイブリッド成形リアバンパービームとして、衝突荷重への対応強度と軽量化（鋼材比 50%、アルミ合金比 20%の軽量）の両面を実現しており、樹脂とガラス繊維の複合素材をランクセスグループより供給を受け、タカギセイコーの「TS 高速スタンピング成形システム」を使ってその生産を行っています。

*2016年2月 Honda 調べ



「リアバンパービーム」写真

Honda の新型燃料電池自動車「CLARITY FUEL CELL」の車体部品イメージ

タカギセイコーは、今後も環境にやさしい企業として、CO² の削減のための軽量化というキーワードに対して、世界最先端のワンショットハイブリッド成形技術力で応えてまいります。

◇ TS 高速スタンピング成形システムの特徴

タギセイコーが開発した「TS 高速スタンピング成形システム」は、熱可塑性樹脂と複合素材^{*1}による高強度と軽量化を兼ね備えた製品の生産を、複合素材の投入からその素材の加熱、積層、プレス、樹脂の充填成形及び製品の取り出しまでを全自動で行い、優れた安定生産と連続生産を可能にする世界初^{*2}の量産化のための成形システムです。

また、この「TS 高速スタンピング成形システム」は、小型精密部品から自動車の軽量化に適した大型構造部品等までの幅広い大きさの製品に対応することができます。

*1 GFRP(Glass Fiber Reinforced Plastics)や CFRP(Carbon Fiber Reinforced Plastics)等

*2 2016年4月当社調べ



「TS 高速スタンピング成形システム」写真

◇ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社タギセイコー

営業統括部 柳本 暁雄

Tel : 0766-24-5815 Fax : 0766-24-5662